



平成 28 年 12 月 11 日

大野ポスター展 2016 投票結果発表

～大野市の地方創生、人口減少対策プロジェクト「大野へかえろう」～

福井県大野市では、地方創生・人口減少対策への取り組みのひとつとして、高校生等を対象とした「大野へかえろう」プロジェクトを実施しています。このプロジェクトの一環として、昨年に引き続き今年も「大野ポスター展 2016」を開催し、このたび12月11日に総選挙の投票結果発表および表彰式を開催しましたのでお知らせします。

記

<受賞結果>

受賞者一覧および受賞した各ポスターは、次項のとおり

<大野ポスター展とは>

大野の高校生が大野のお店や事業所の魅力あるポスターを作り、地元を盛り上げる企画。ポスター制作を通して、改めて地元の魅力に気づき、大野の大人とふれあうことで、いつか大野にかえる一つのきっかけや未来の大野をつくる人材育成につなげることを目的としています。大野ポスター展は、昨年初めて開催し、今回で2回目となります。8月に開催したポスター制作ワークショップを経て高校生22名が制作した地元の事業者のポスター全22点。今年は新たに、保険業、工務店、電気・給排水工事業など商店だけではなく事業所にも企画に参加いただきました。なお、「ポスター総選挙」の投票は平成28年9月17日から11月23日に実施。

<http://www.return-to-ono.jp/index.html>

<表彰式>

- | | |
|---------|---|
| 1 日 時 | 平成28年12月11日 (日) 午後2時～3時 |
| 2 場 所 | 平成大野屋 平蔵 (大野市元町1-2) |
| 3 内 容 | 総選挙 (人気投票) の結果に基づき、各賞の受賞者を発表し賞状等を贈呈 |
| 4 参 加 者 | ポスターワークショップ参加者 (高校生)
ポスター制作事業所
その他、大野市長や指導にあたった㈱電通クリエイター等 |

<ニュースリリースに関するお問い合わせ>

大野市結の故郷推進室 (ゆいのくにすいしんしつ) 加藤、雨山 (あめやま)

TEL : 0779-64-4824 FAX : 0779-65-8371

Email : yuinokuni@city.fukui-ono.lg.jp <http://www.city.ono.fukui.jp/>

大野ポスター展 2016 受賞者一覧

賞	事業所	制作者
グランプリ	野村醤油株式会社	宮澤 佑衣 (大野高校 3年)
準グランプリ	有限会社西川工務店	岩本 あかり (奥越明成高校 1年)
コピー賞	九頭龍設備株式会社	宮本 幸輔 (奥越明成高校 1年)
デザイン賞	有限会社南部酒造場	津田 礼奈 (奥越明成高校 2年)
WEB投票賞	hair make R・u p	米村 明莉 (大野高校 3年)
地方創生アドバイザー賞	奥越菓庵やまうち	安倍 凜伽 (大野高校 1年)
清水国明 賞	株式会社橋本代理店	青木 優弥 (奥越明成高校 3年)
湊川忠晃 賞	相撲茶屋 翔剛	田中 郁也 (奥越明成高校 1年)
養老孟司 賞	愛来屋	廣瀬 美優 (奥越明成高校 1年)
大野晃 賞	前田電気株式会社	萱岡 名月 (奥越明成高校 3年)
Maren Annika Ehlers 賞	手作り工房 もっこ	松田 風音 (大野高校 1年)
齊藤一郎 賞	Cafe & Guest house Name came Ono	南 真生 (大野高校 3年)

<各賞の説明>

- グランプリ、準グランプリ 投票総数 3, 590 票
市内 3 箇所を設置した投票所のうち投票の多かったポスター上位 1 つ
- コピー賞 投票総数 1, 811 票
同投票所のうち最も投票の多かったキャッチコピーのポスター
- デザイン賞 投票総数 1, 519 票
同投票所のうち最も投票の多かったデザインや写真のポスター
- WEB投票賞 WEB投票総数 2, 263 票
大野へかえろうホームページにおいて最も投票の多かったポスター
- 地方創生アドバイザー賞、6名のブランド大使賞は本人が選出

グランプリ

なちやかな

長年熟成された

バカの味

醤油のことならバカマジメ

ノムラ醤油

準グランプリ

今から家、動かしまーす。

建物のことならなんでもドンとこい! 西川工務店

コピー賞

目に見えんから
手は抜かん

水道・トイレなどの設備の事なら

九頭龍設備株式会社

デザイン賞

飲むと、
そこには大野があつた。

純・大野産

花垣

養老孟司 賞



大野晃 賞



Maren Annika Ehlers 賞



齊藤一郎 賞



○グランプリ 宮澤佑衣さんのコメント

グランプリを受賞できて、めっちゃうれしいです。

「大人がバカなことをマジでやってる」というお店の方の言葉が印象に残って、それをキャッチコピーにしました。

一番難しかったのはデザイン。誰ともかぶらない、おもしろいものにしようと思って考えました。醤油の瓶から出てくる首ができるだけリアルに見えるようにしたのも、こだわったポイントです。

生まれたときから使っている野村醤油のポスターを作れて、よかったです。

野村醤油の野村さん、あんなにおもしろい顔をしてくださって、ありがとうございました。

○講師代表コメント（ポスター展 ディレクター 電通 日下慶太）

ポスター展も2年目を迎え、昨年よりもかなりレベルアップしているというのが実感です。昨年から続けて参加してくれた生徒さんの作品を見ると、1年という短い時間で、若者がいかに成長できるかを見せつけられ、頼もしく思いました。

そして、ちょっとおとなしく見える大野市民のみなさんが、実はちょっと「おもしろい」ものが好きだっということが、投票結果を見て分かりましたね。

来年も再来年も続けて、このポスター展を大野の夏の恒例行事にしていきたい。ぜひぜひ、周りの生徒さんを誘ってくださいね。

○岡田高大市長のコメント

今年2回目を迎えた大野ポスター展。今回も個性的な作品がたくさん揃い、総選挙などで大野を盛り上げてくれました。参加して下さった高校生たちの努力と、事業所の方々のご協力に厚く御礼を申し上げます。高校生たちと事業者のみなさんが一緒になって頑張ったことで、新しい絆ができ、地域のつながりが深まったことがうれしいです。この取り組みを通じて、若い世代が故郷・大野のことをもっと深く知り、郷土愛を育んでくれることを願っています。